



NISSHA

2019年12月期 第2四半期 決算説明会

2019年8月6日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木 順也

本日のポイント

2019年12月期 第2四半期累計（H1）の実績

- 製品需要が想定を下回り、事業収益が悪化（平均レート：¥110/\$）
 - 売上高 731億円、EBITDA ▲10億円、営業損失 58億円、経常損失 63億円、親会社株主に帰属する四半期純損失 75億円
 - デバイス：スマートフォン向けの需要が低調、生産の稼働率が低下
 - 産業資材：中国向け需要の減速で生産の稼働率が低下、一部の海外成形工場の品質問題が継続
 - メディカルテクノロジー：受託製造分野を中心に堅調、のれん償却後営業黒字が定着

2019年12月期 通期の見通し

- 通期業績予想を下方修正（為替想定レート：¥107/\$）
 - 売上高 1,800億円、EBITDA 118億円、営業利益 15億円、経常利益 5億円、親会社株主に帰属する当期純利益 0億円
 - デバイス、産業資材：H1の業績結果、H2の需要動向の見直しにより下方修正
 - メディカルテクノロジー、情報コミュニケーションは概ね想定通りに推移する見通し

トピックス

- 中期経営計画のアップデート
- 社員向けのインセンティブ・プラン（株式給付信託）の導入を決定（J-ESOPおよび従業員持株会処分型）

2019/12期 H1（6カ月）の実績

（百万円）

	2018/12期 1-6月 (Q2累計) 実績	2019/12期 1-6月 (Q2累計) 計画	2019/12期 1-6月 (Q2累計) 実績	前年同期比 (2018年 1-6月比)
売上高	72,542	78,000	73,100	+0.8%
産業資材	23,338	24,800	23,554	+0.9%
デバイス	32,012	37,200	33,466	+4.5%
メディカルテクノロジー	9,987	12,500	12,285	+23.0%
情報コミュニケーション	6,994	3,300	3,601	▲48.5%*
その他	209	200	191	▲8.3%
EBITDA	132	1,080	▲ 1,080	-
EBITDA率	0.2%	1.4%	-1.5%	-1.7pt
営業利益	▲ 4,476	▲ 4,000	▲ 5,829	-
営業利益率	-6.2%	-5.1%	-8.0%	-1.8pt
経常利益	▲ 5,954	▲ 4,300	▲ 6,387	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 6,754	▲ 4,000	▲ 7,569	-
為替レート	¥108/\$	¥105/\$	¥110/\$	

* 2019年1月の事業再編による影響

2019/12期 Q2 (3カ月) の実績

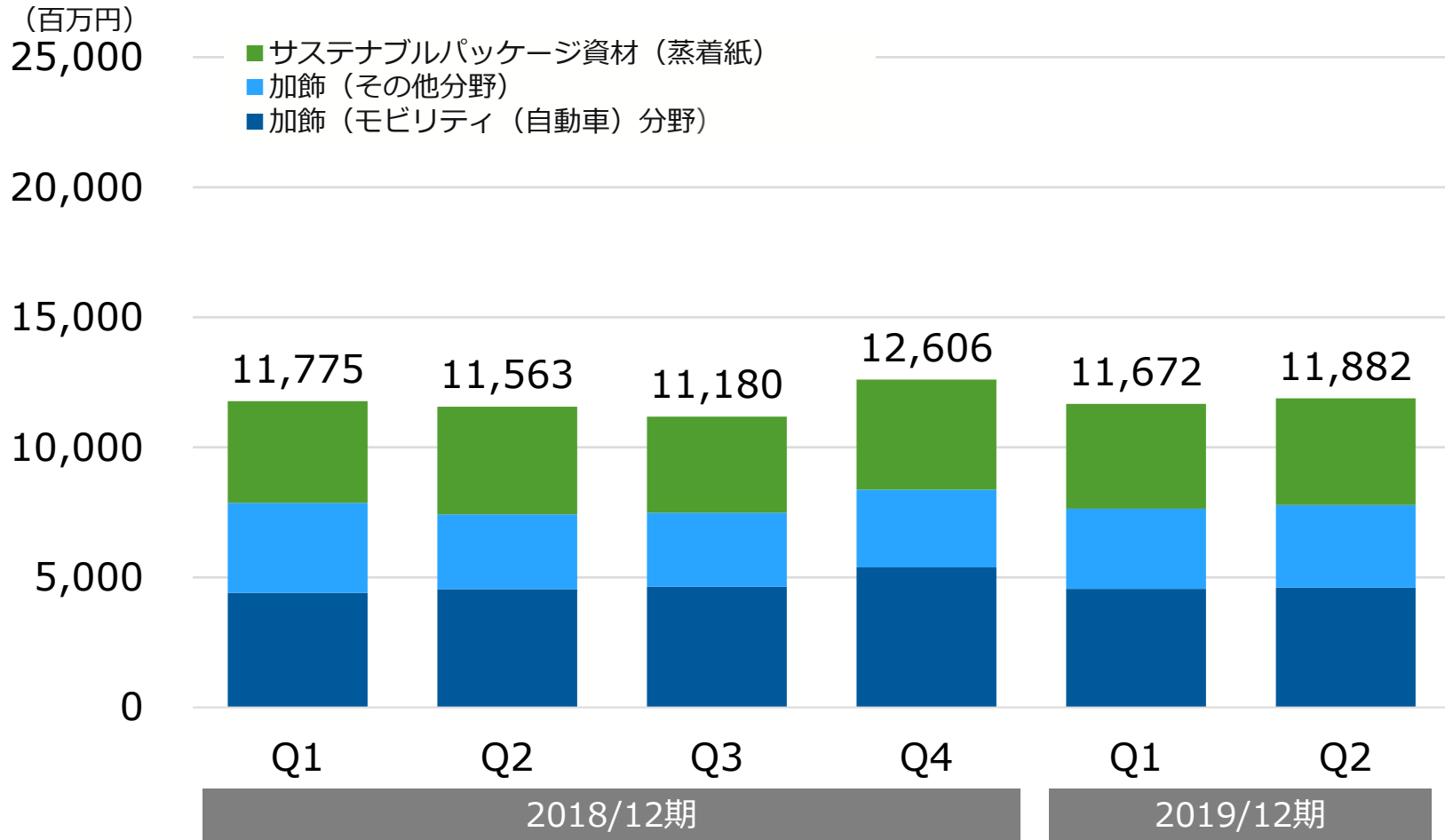
(百万円)

	2018/12期 4-6月 (Q2) 実績	2019/12期 1-3月 (Q1) 実績	2019/12期 4-6月 (Q2) 実績	前年同期比 (2018/12期 4-6月比)	前四半期比 (2019/12期 1-3月比)
売上高	36,228	34,964	38,136	+5.3%	+9.1%
産業資材	11,563	11,672	11,882	+2.8%	+1.8%
デバイス	16,325	15,072	18,394	+12.7%	+22.0%
メディカルテクノロジー	5,107	6,145	6,140	+20.2%	▲0.1%
情報コミュニケーション	3,121	1,977	1,624	▲47.9%	▲17.9%
その他	112	95	96	▲14.3%	+1.1%
EBITDA	▲ 383	▲ 170	▲ 910	-	-
EBITDA率	-1.1%	-0.5%	-2.4%	-1.3pt	-1.9pt
営業利益	▲ 2,647	▲ 2,508	▲ 3,321	-	-
営業利益率	-7.3%	-7.2%	-8.7%	-1.4pt	-1.5pt
経常利益	▲ 2,291	▲ 2,746	▲ 3,641	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 3,142	▲ 3,258	▲ 4,311	-	-
為替レート	¥107/\$	¥109/\$	¥110/\$		

産業資材

中国向け需要が減速、海外成形工場の品質問題が継続

用途別売上高（四半期）

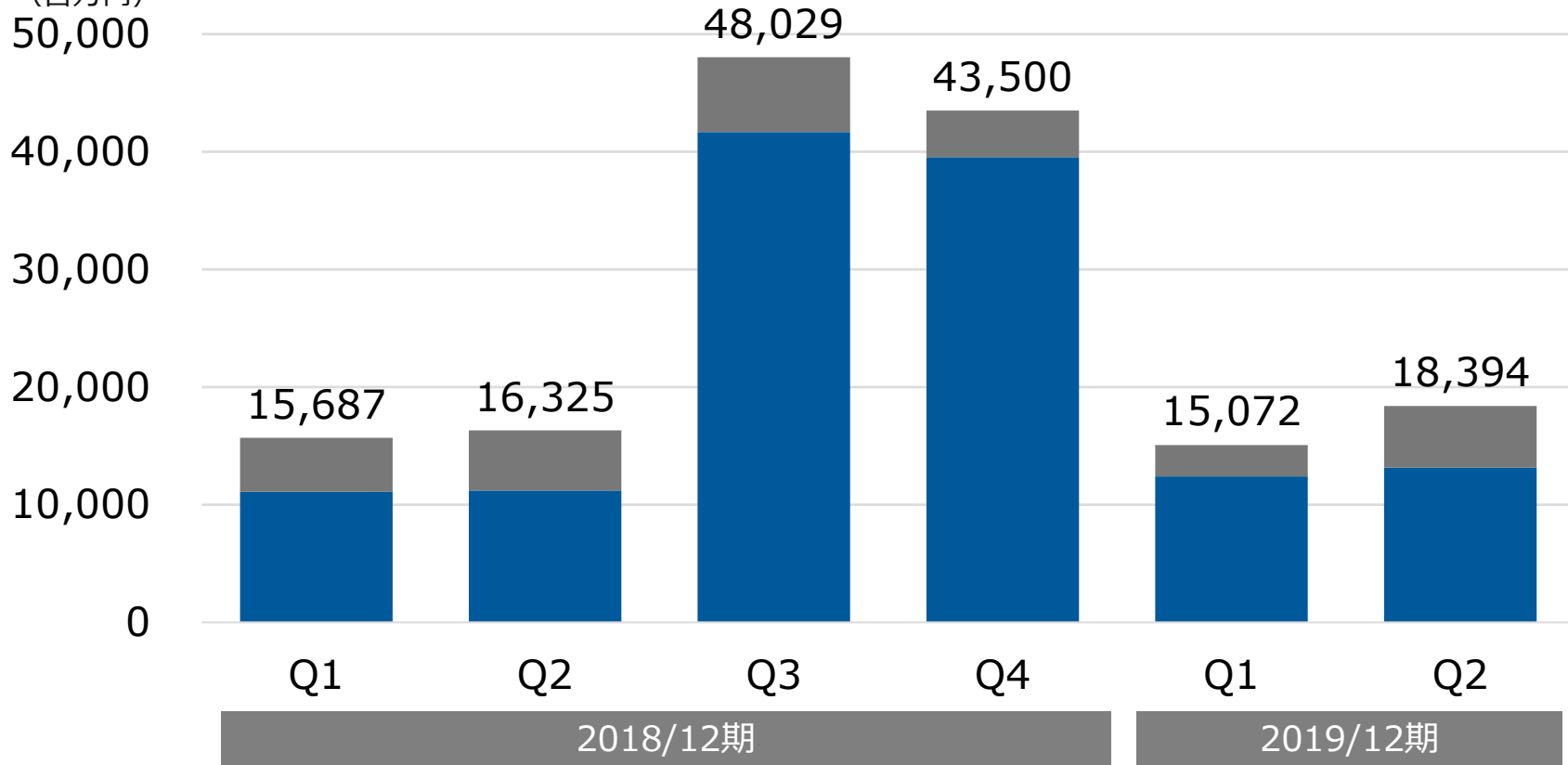


デバイス スマートフォン向けの需要が低調

用途別売上高（四半期）

- ゲーム機・産業用機器・モビリティ（自動車）向け、ガスセンサーなど
- スマートフォン・タブレット向けなど

（百万円）



メディカルテクノロジー 受託製造分野を中心に堅調

用途別売上高（四半期）

(百万円)
10,000

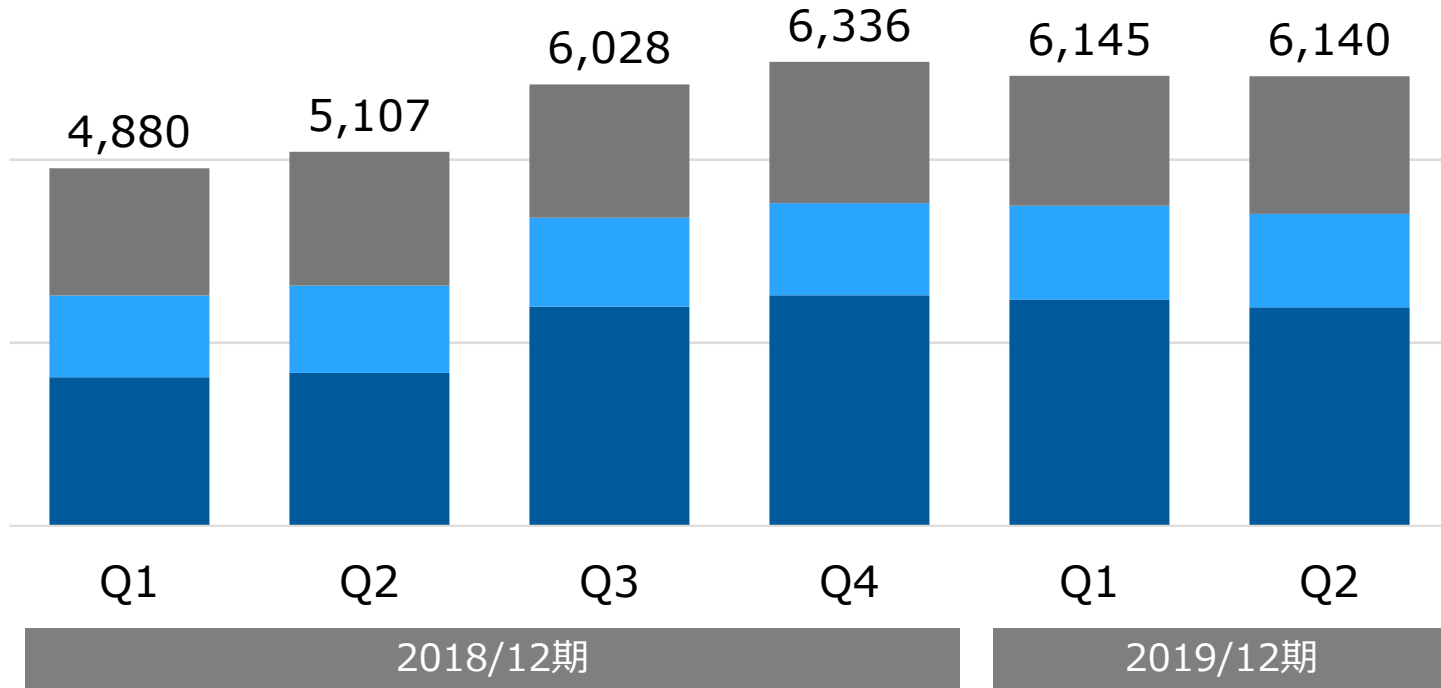
- ビジネスメディア
- 医療機器（自社ブランド）
- 医療機器（受託製造）

7,500

5,000

2,500

0



情報コミュニケーション

Q2は季節要因により需要減少

用途別売上高（四半期）

(百万円)
8,000

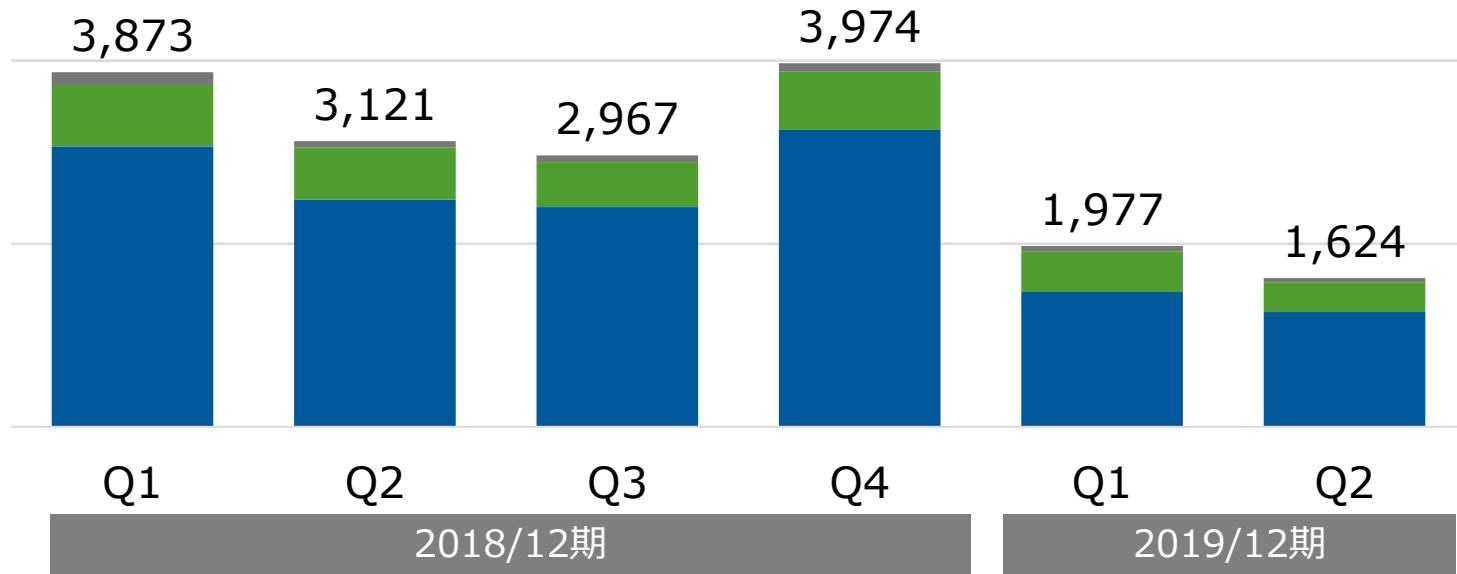
- その他
- 出版分野
- 商業分野

6,000

4,000

2,000

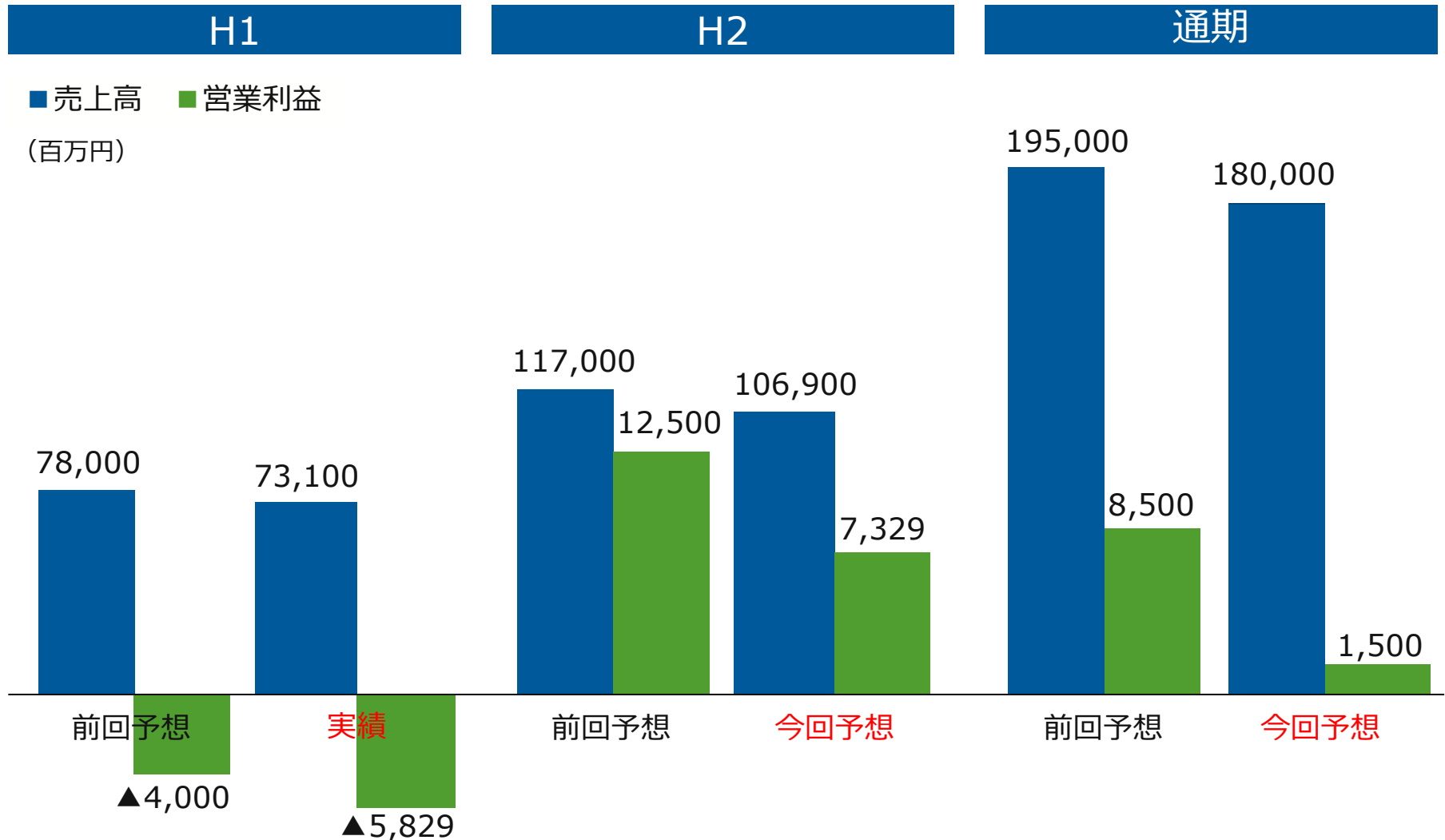
0



2019年1月7日
事業再編を実施

業績予想の変更

H1の需要低迷のトレンドがH2も続く



業績予想の変更

EMPOWERING YOUR VISION

(百万円)

	前回予想 (2/14公表)			今回予想 (8/6公表)		
	2019/12期 通期 (1月-12月) 予想	2019/12期 H1 (1月-6月) 予想	2019/12期 H2 (7月-12月) 予想	2019/12期 通期 (1月-12月) 予想	2019/12期 H1 (1月-6月) 実績	2019/12期 H2 (7月-12月) 予想
売上高	195,000	78,000	117,000	180,000	73,100	106,900
産業資材	51,800	24,800	27,000	48,000	23,554	24,446
デバイス	110,600	37,200	73,400	99,500	33,466	66,034
メディカルテクノロジー	25,000	12,500	12,500	25,000	12,285	12,715
情報コミュニケーション	7,100	3,300	3,800	7,100	3,601	3,499
その他	500	200	300	400	191	209
EBITDA	18,800	1,080	17,720	11,800	▲ 1,080	12,880
EBITDA率	9.6%	1.4%	15.1%	6.6%	-1.5%	12.0%
産業資材	4,900	-	-	2,600	954	1,646
デバイス	13,200	-	-	9,400	▲ 2,023	11,423
メディカルテクノロジー	2,400	-	-	2,400	1,263	1,137
情報コミュニケーション	400	-	-	200	▲ 65	265
その他	▲ 2,100	-	-	▲ 2,800	▲ 1,208	▲ 1,592
営業利益	8,500	▲ 4,000	12,500	1,500	▲ 5,829	7,329
営業利益率	4.4%	-5.1%	10.7%	0.8%	-8.0%	6.9%
経常利益	7,800	▲ 4,300	12,100	500	▲ 6,387	6,887
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益	6,000	▲ 4,000	10,000	0	▲ 7,569	7,569
為替レート	¥105/\$	¥105/\$	¥105/\$	¥107/\$	¥110/\$	¥105/\$

第6次中期経営計画の進捗 (2018-2020)

中期ビジョン： バランス経営の完成 ITと非ITのバランスを実現する

IT

- 収益性・効率性の維持・追求

IT



非IT

- 成長戦略（M&A）の実行

医療機器



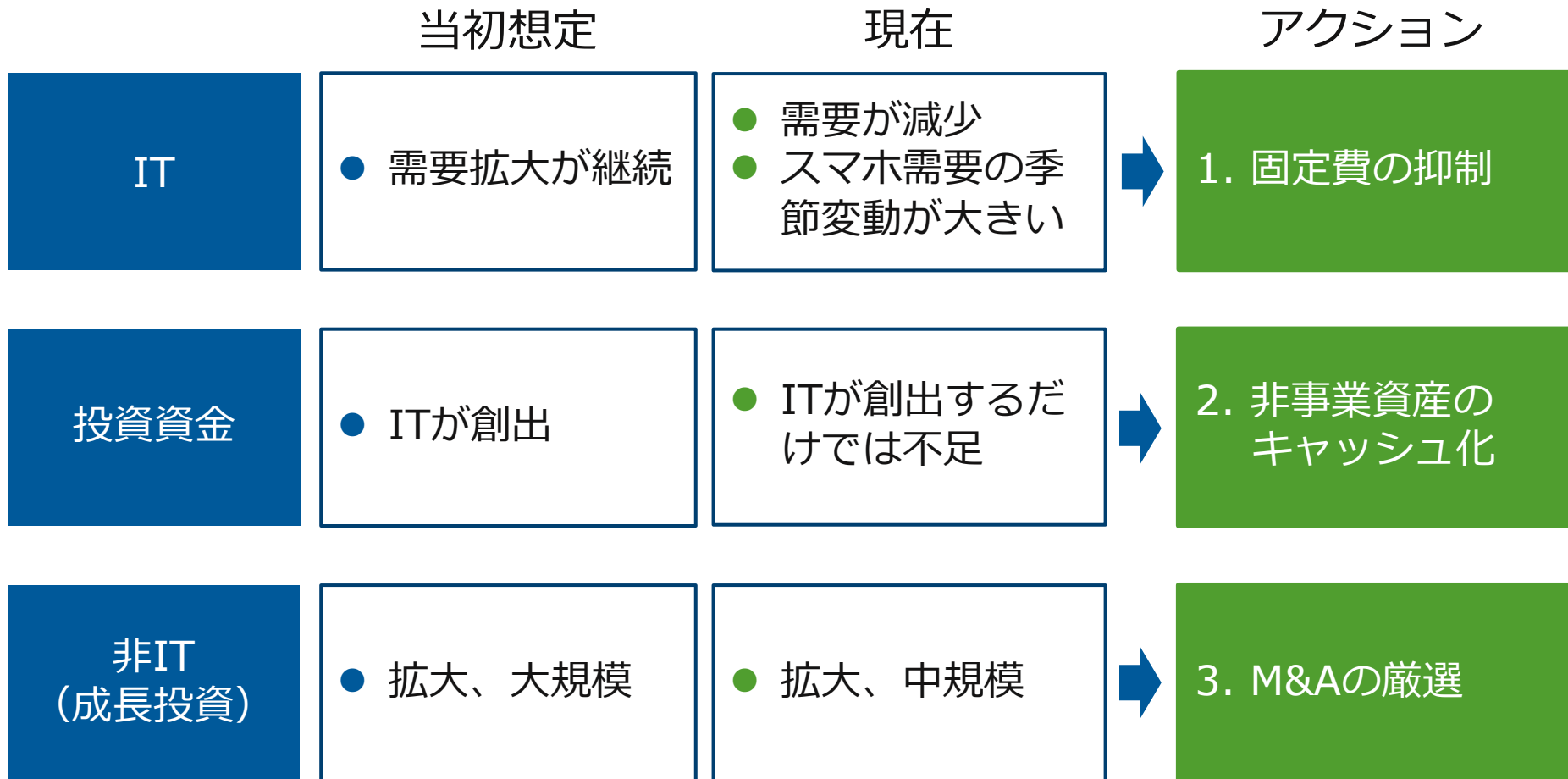
サステナブル
パッケージ資材



モビリティ
（自動車）



3つのアクションを実行



スマホ需要の減少により、 生産の平準化・遊休人件費の抑制に着手

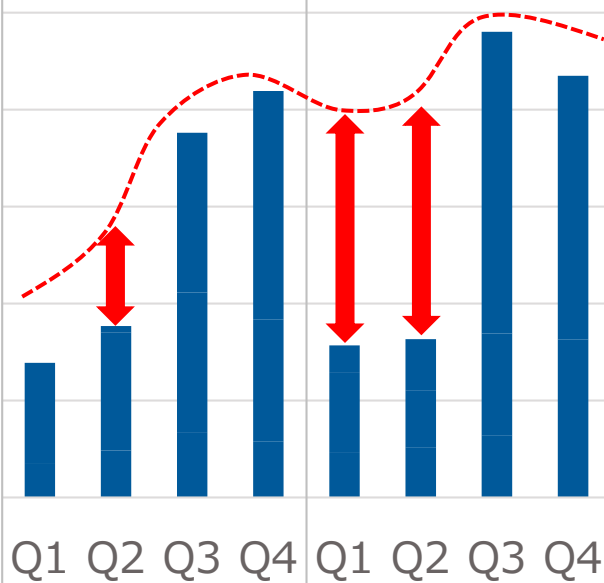
現在

スマートフォンの激しい季節変動

総需要 ↗
遊休人件費 ↗
利益率 ↘



■ デバイス事業の需要
- - - 人件費
↔ 遊休人件費



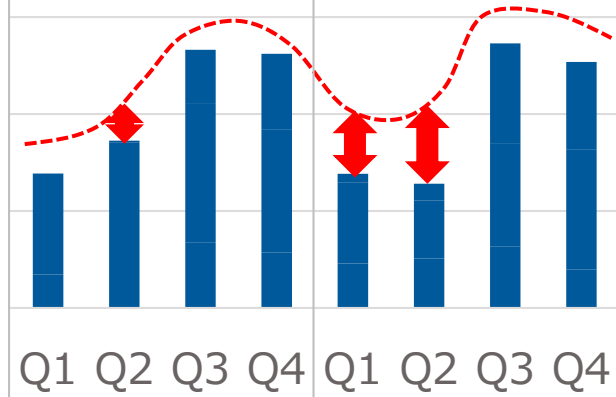
目指すべき姿

需要は減少も、季節変動少ない

総需要 ↘
遊休人件費 ↘
利益率 ↗



■ デバイス事業の需要
- - - 人件費
↔ 遊休人件費



2020年までに総額100億円規模の成長資金を確保

当初想定

投資資金

- ITが創出する営業CF ↗
- 外部からの調達（負債）

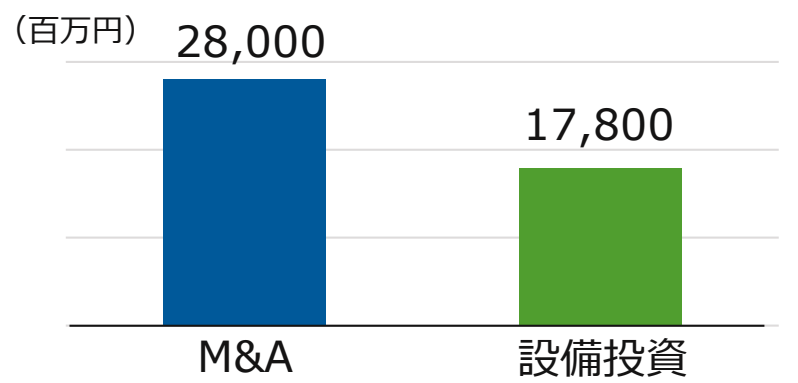
現在

投資資金

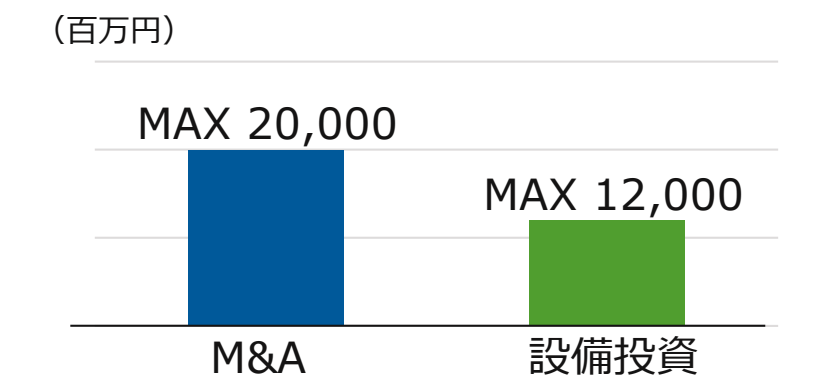
- ITが創出する営業CF ↘
- 外部からの調達（負債）
- +
- 非事業資産キャッシュ化：100億円規模
 - 遊休固定資産
 - 政策保有株式



これまでの投資予算（2019年～2020年）



今後の投資予算（2019年～2020年）



ターゲット領域

医療機器



- 心疾患
- 急性医療
- 消耗品

製品ラインアップの拡充
受託製造能力の拡張



DDS (剤形変更)



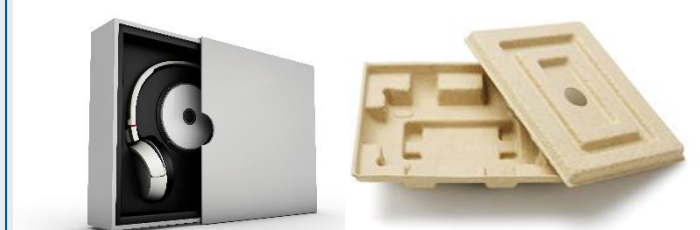
サステナブル パッケージ資材



蒸着紙のシェア拡大



新たなサステナブルパッケージ資材



モビリティ (自動車)



新たなトレンドが事業機会

CASEトレンド

- Connected=つながる
- Autonomous=自動運転
- Shared/Service=共有、サービス
- Electric=電動化



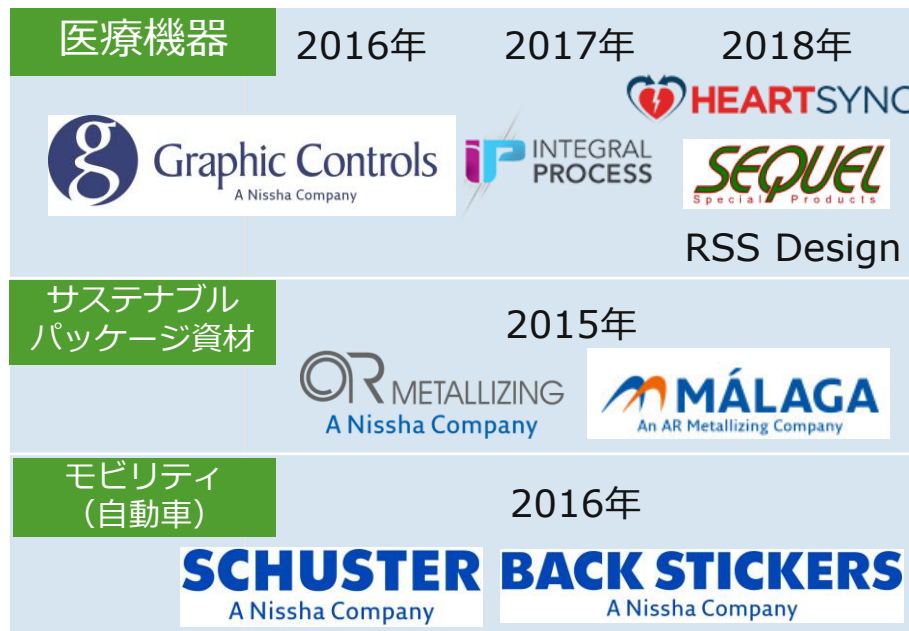
「モビリティ事業推進ユニット」設立
産業資材（内装・外装加飾）とデバイス（機能部品）の強みを融合



M&Aの実行力

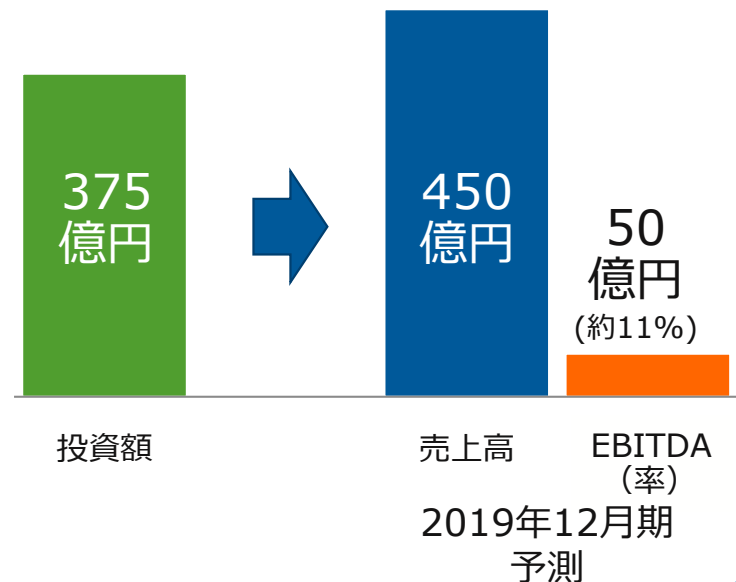
- ROIC 8%以上
- 入札案件の回避
- 高値掴みしない交渉力
- 当社コア技術との親和性
- 買収先の経営者による続投・自走力
- PMIの成功

近年の実績



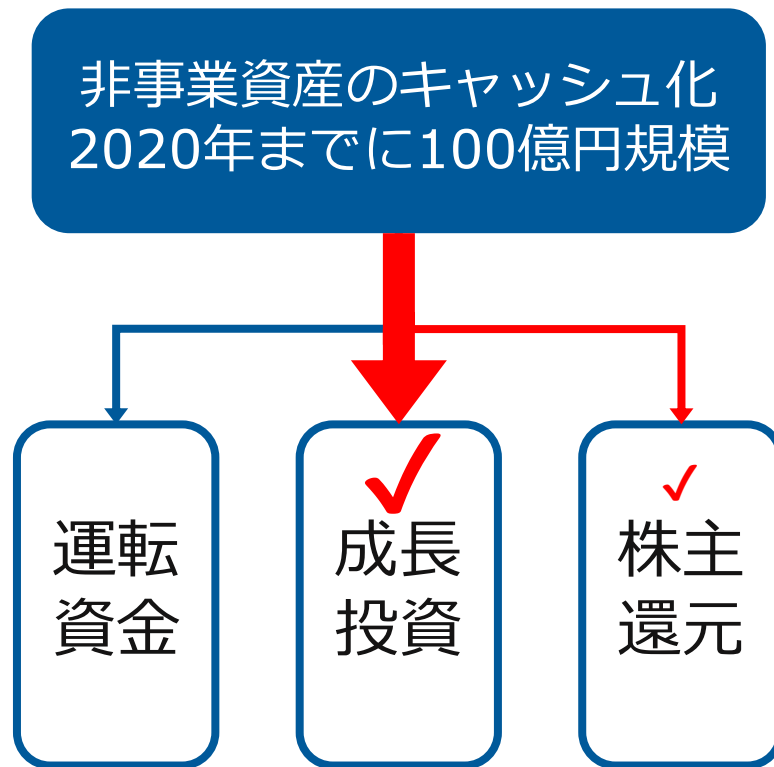
- 投資額375億円、ROIC*は9%

*キャッシュベースのROIC
= EBITDA × (1-税率30%) ÷ 投資額

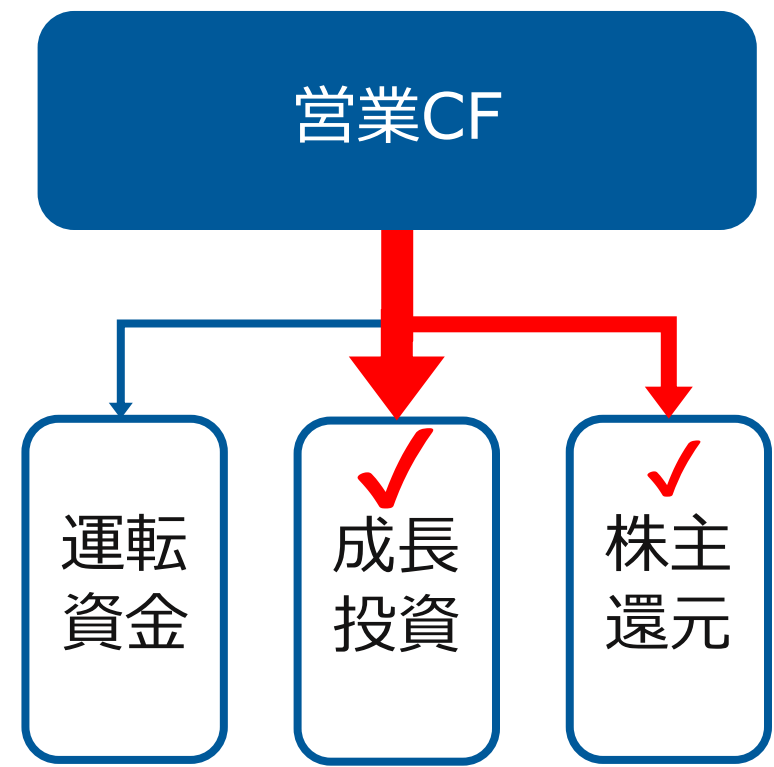


現在は非ITへの成長投資を優先 中期的に資本配分の最適なバランスを目指す

短期（今回のアクション2）

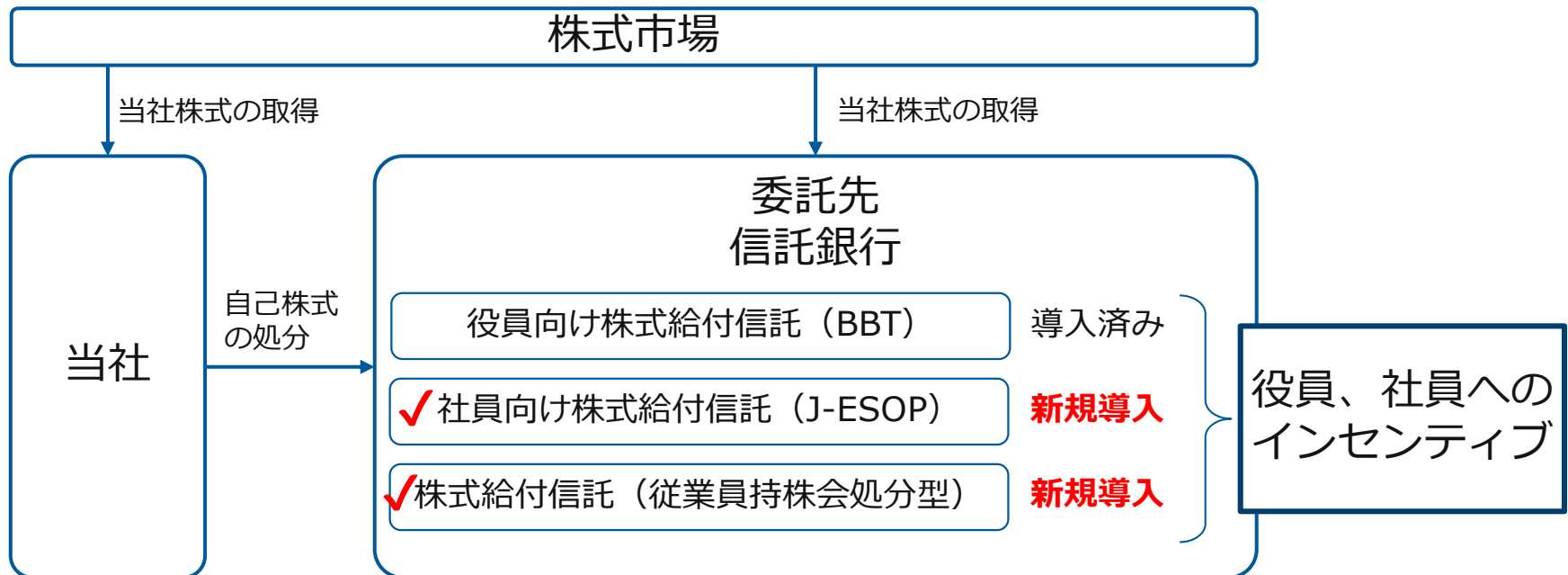


中期（バランス経営の完成後）



社員の活性化による企業価値の向上

- 社員の株価および業績向上に対する動機づけ
- 株式は株式市場または自己株式の処分により調達
(決定次第、別途公表)



ご参考：設備投資・減価償却費・M&A投資・ のれん償却費・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績
設備投資	1,602	2,187
減価償却費	1,943	2,003
M&A投資	-	-
のれん償却費	400	403
研究開発費	875	944

This document contains confidential information and all rights regarding the document belong to Nissha Group. Therefore, any disclosure and/or leakage of the document to any third parties other than recipients of the documents, and copy, transfer and/or citation of the document without the prior authorization of Nissha Group are strictly prohibited. In addition, any use of the document for the purpose other than original purpose for the disclosure of the document is also prohibited.

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利はNISSHAグループに帰属しているため、NISSHAグループの事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複写、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。